

古典で読む20世紀 第Ⅱ期

日本クリスチャン・アカデミー関東活動センター
2015年度 関東フォーラム 宗教対話 I

20世紀は、人類の歴史の中で、多くの記録を更新しました。史上最大の戦死者、ナチによる数百万のユダヤ人虐殺、核兵器の投下—広島、長崎、運動から体制になった「社会主義」とその解体。激動の20世紀を、古典を読み解くことから、21世紀と人類の未来をともに考えあいませんか。

2014年度の第一期では、19世紀の思想家を、今回は20世紀の思想家を取り上げます。戦後70年、長期の展望から未来を見据えましょう。

テキストは、文庫で手に入りやすいものをえらびました。

第1回『同時代人サルトル』 長谷川宏(講談社学術文庫)

サルトルの『実存主義とは何か』を取り上げる予定でしたが、文庫に入っていないので、本書を手掛かりに戦後前期の最大の思想家ともいべきサルトルに迫ります。長谷川さんは、現代日本を代表する哲学者と言ってよいでしょう。

特に一章「サルトルの若さ」2章「政治思想の視座」を取り上げます。もちろんサルトルの『実存主義とは何か』は人文書院版全集では比較的薄いものですから、読んでおいていただければ、ありがたいです。同書のレジュメはファシリテーターが作成します。

日時 5月22日(金) 午後6時半から8時半

場所 早稲田教会ロビー、新宿区、西早稲田、地下鉄東西線早稲田駅下車、徒歩5分

参加費 1回500円、4回連続の場合は1,500円

テキストを読んでなくとも、はじめに内容の説明を行います。初心者歓迎。

ファシリテーター&テューター 武田利邦



日本クリスチャン・アカデミー関東活動センター運営委員、
農村伝道神学校ほか講師。長年公立高校教員として、高校生に「よくわかるマルクスやキルケゴール」を語ってきた実績あり。

第2回以降の予定。

第2回 I. レーニン『帝国主義論』(岩波文庫) 7月24日(金)

第3回 R. L. カーソン『沈黙の春』(新潮文庫) 9月25日(金)

第4回 K. パルト『教会と国家 I』(新教出版社) 11月27日(金)

問い合わせ・申込先: 日本クリスチャン・アカデミー関東活動センター

電話 03-3207-6198 E-mail: info@academy-tokyo.com